

Imaging Team

掲載内容

営業情報

- デモ機の追加について
- 2014 年度版カタログについて
- MetaMorph ユーザ様 研究成果のご紹介について

技術・サポート情報

- Q Imaging 社 Retiga2000R の動作について

はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

- Integrated Morphometry Analysis (IMA) (5)
Measure の種類の変更、種類の簡単な説明

営業情報

新しく次のデモ機を追加しました

CREST X-Light Dual Head:

異なるフォーマットのカメラ2台を共焦点スキャナヘッドに接続が可能です



CREST X-Light Pro+FRAP:

共焦点画像取得と光刺激を同時に行うことができます



ASI RAMM(フルオプション):

電動ユニット(XY+150um ピエゾステージ、同焦点ユニット、吸収 FW、対物ターレット)実装
スクリーニング用ベースユニットとしても使用可能です

ASI RAMM(エントリーモデル):

電動対物ステージ、高精細マニュアル XY ステージ実装
各種電動ユニットの組み込みも可能です



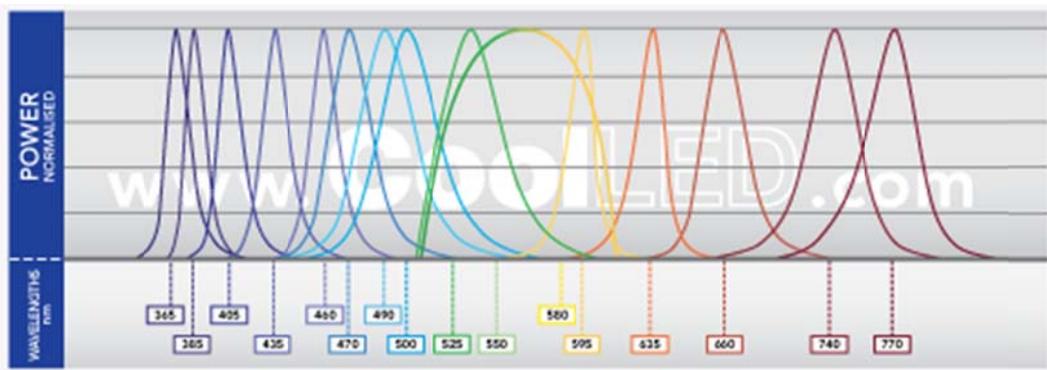
CoolLED pE300-White:

白色対応 LED で、各社顕微鏡用マウントも準備しました



CoolLED pE4000:

1 台のユニットで 365nm ~ 770nm すべての帯域をカバーします



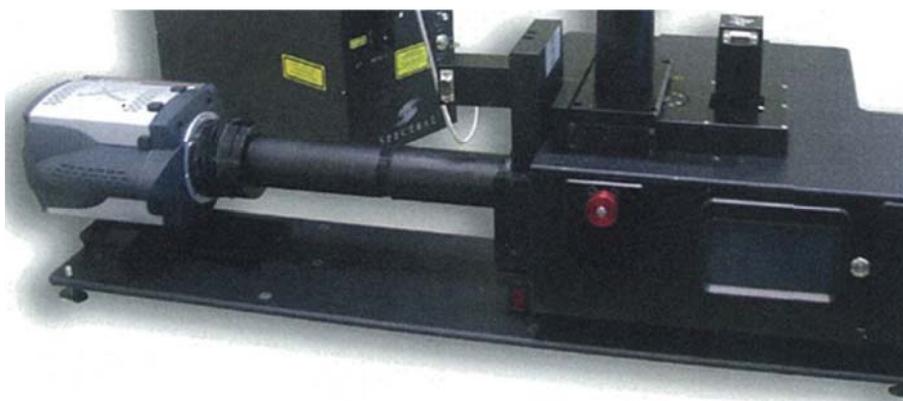
Lumen Dynamics X-Cite 120LED:

370nm ~ 700nm をカバーし、付属のパッドまたは、ソフトウェアから輝度調整が可能です



SAR S-Disk with Borealis WF Discovery package:

超解像画像や共焦点画像取得(ピンホール径 33/50/75um) が可能です



2014 年度版 (Vol.6) が完成しました

新しくなりました MetaMorph ソフトウェアの構成をはじめ、最新ハードウェアを含めました



当社 WEB サイトにて国内 MetaMorph ユーザ様 研究成果のご紹介を始めました

http://www.nihonmdc.com/pages/UIC/MetalImaging_main.html

The image shows two screenshots from the MetaMorph website. The left screenshot displays the 'Meta Imaging Series' page with a navigation menu on the left and a central diagram of the microscope system. The right screenshot shows a page titled 'MetaMorphユーザー様 研究成果のご紹介' (Introduction of Research Results from MetaMorph Users). It lists two research articles: one from (2014.02) by Dr. Nobukazu Araki at Kagawa University, and another from (2013.11) by Dr. Yusuke Chiba at Hokkaido University.

技術・サポート情報

Q Imaging 社 Retiga2000R の動作について

Meta Imaging シリーズのバージョン 7.8.4 で Q Imaging 社製 Retiga 2000R でビニング 2x2, 3x3 等を行った際にソフトウェアがクラッシュしてしまうことが確認されておりました。が、これを修正したバッチファイルができました。バッチを当てることによりビニングを行っても問題が発生しなくなりました。

バージョン 7.8.5 では修正を含んだアップデートファイルをリリースいたします。

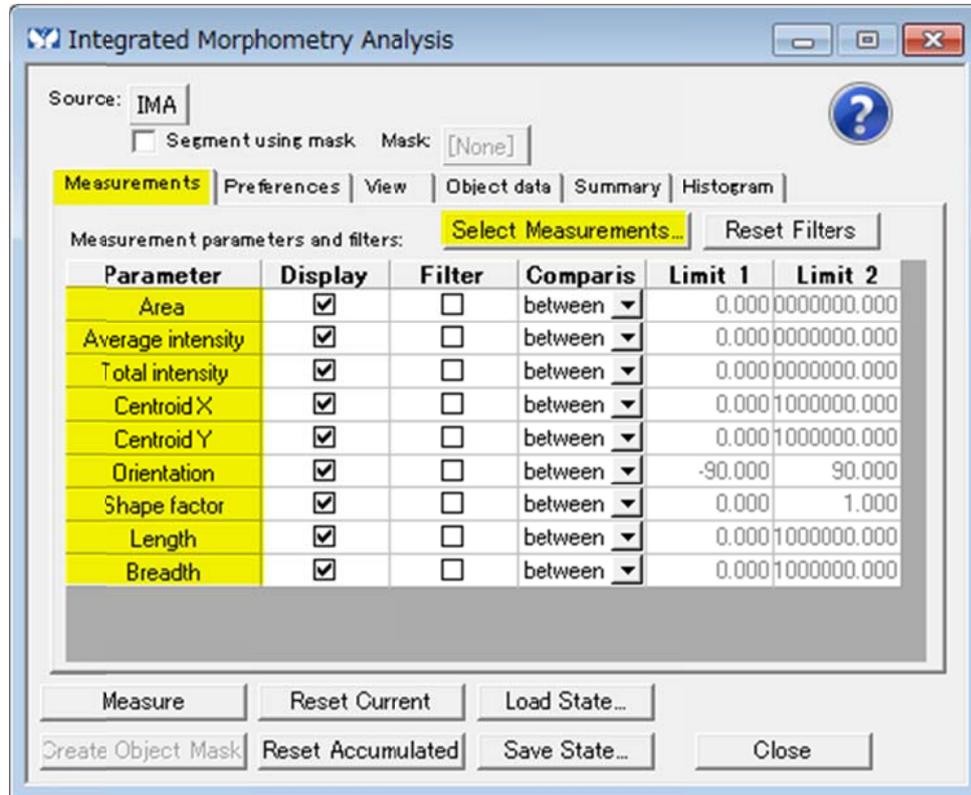
はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

Integrated Morphometry Analysis (IMA) (5)

Measure の種類の変更、種類の簡単な説明

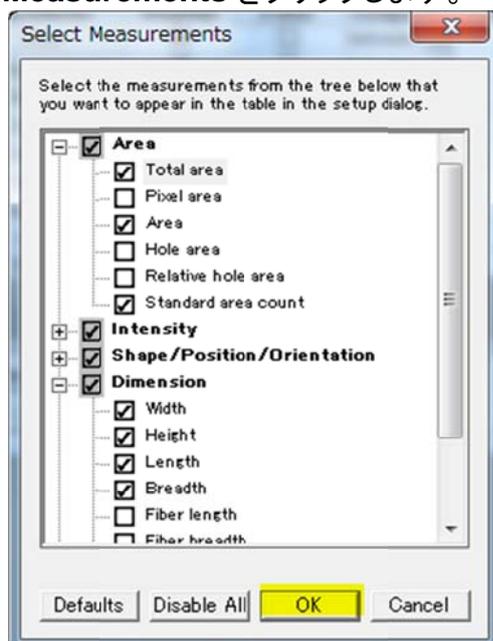
今回は IMA でできる Measure の種類について説明します。

IMA の Measure の種類は、標準的には下記のように 9 種類になります。



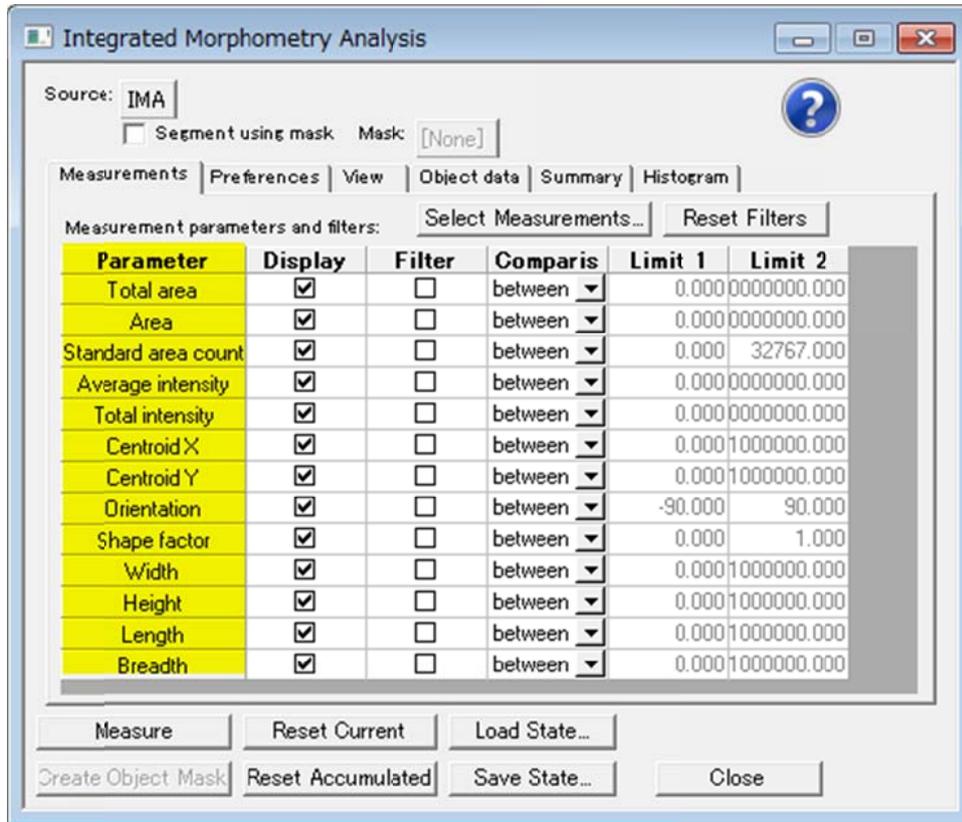
IMA で行える Measure の種類は 9 種類ではなく、なんと 50 種類程もあります。

標準の 9 種類以外を使用したい場合には、上記ダイアログボックスの **Select Measurements** をクリックします。



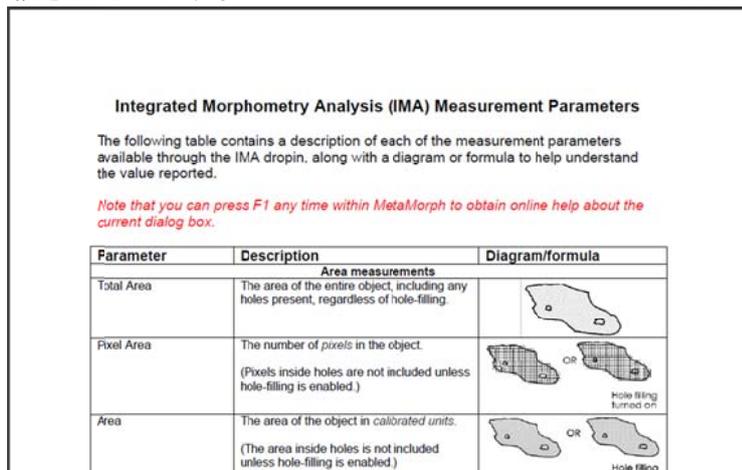
Select Measurements を開きますと、Measure の項目が枝分かれに表示されます。

Measure したものにチェックを入れて OK をクリックしますと、Parameter 項目が多く表示されます。その後 Display に を入れますと Measure クリック後の計測項目が変更されます。



Select Measurement 内のチェックを必要に応じてつけたり外したりして、計測項目を変更することができます。

計測項目の内容を知りたい場合は、 をクリックしますと、下記のような説明が図式で記載されています。



Area 関連でも数種類あります。Hole を含めた場合、含めない場合、標準面積を設定した場合のカウントなどがあります。

長さ関連等でも、Width, Height では X 方向、Y 方向の長さになりますが、Length, Breadth ではオブジェクトの長さと幅を表させることができます。